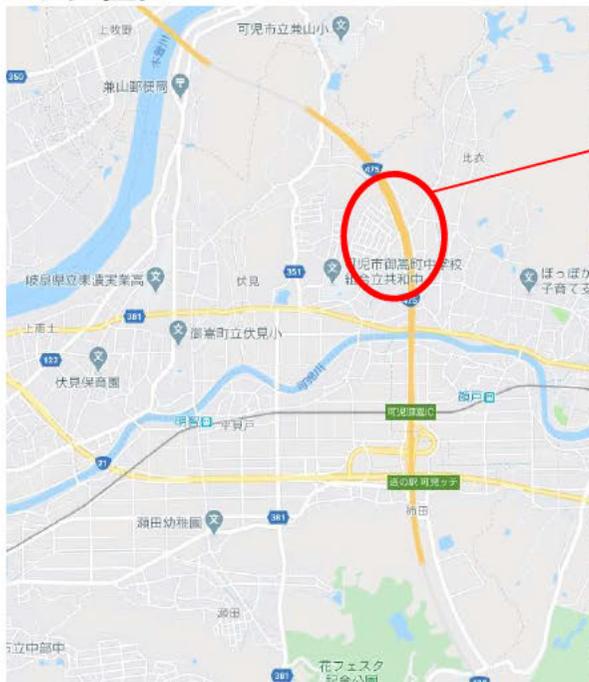


東海環状自動車道 KP51.5付近 熱中症の疑い 報告()

NEXCO

- ◆日時 令和 2年 8月 19日(月) 13:40頃
- ◆場所 東海環状道 内回り KP51.5付近 舗装打換工
- ◆概要 東海環状道 内回りKP51.2～51.9 で走行車線規制にて舗装打換工を行っていたところ、現場監視員の一人が体調不良(頭痛・倦怠感)を訴え、規制責任者が確認したところ熱中症が疑われたため、 の職員が の車両にて病院へ搬送したものの。

- ◆当事者
- ◆診断結果 熱中症の疑い 明日は静養するよう医師から指示
- ◆位置図



発生当時の状況、原因推定と再発防止対策

NEXCO

◆WBGT

WBGT計測器は現場責任者が携行していた。11時の時点で熱中症危険レベルは最大の【危険】

◆ウェザーの熱中症注意メール

メンテ現場代理人及び[REDACTED]責任者が受信し、朝礼時、現場責任者及び作業員に通達することになっている

◆チェックリスト

朝礼時に、風邪や熱がないか、下痢をしていないか、寝不足でないか、朝食を抜いていないか、二日酔いはないかを確認している。以降休憩時に水分・塩分の補給および体調の確認をしている。

◆当日の対策

休憩は基本的に60分に1回実施。水分摂取を確認。

熱中症対策として、増員2名追加し、監視員については30分おきに交代をしていた。

◆原因の推定

- 当該作業員は寝不足や二日酔い、体調不良ではなかった。
 - 11時の時点で熱中症警戒レベルは最大の【危険】
- 今週は毎日猛暑日であり、最高気温が36度から39度近くなる気候であった。

◆再発防止対策

今回は、作業計画書(熱中症対策について)を元に以下を徹底していたことで、作業員が早期に体調不良を申し出たことから、体調を悪化させる前に対処することができた。

引き続き以下を徹底していく。

- 休憩は60分に1度、その他、個人の体調に合わせて適宜、水分・塩分補給を行う
- 熱中症予防対策の重要性を安全大会で再度共有
- 熱中症対策として、通常より増員し休憩時間を確保する
- 熱中症の疑いがある場合は、迷わず救急車を要請する

